

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 日進市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考		
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価						今後の展開・改善点等	
				指標	実績数値	指標	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足			目標	実施方法
巡回・窓口相談指導事業	地域内小規模事業者の経営改善を図るため、積極的な巡回・窓口相談指導を実施し、個々のニーズへの対応を強化し、伴走型支援体制を充実させ事業所の経営改善と発展を支援するとともに、創業支援を始め、地域性等を鑑み、経営全般、経済環境の整備等を図りことを目的とする。	巡回窓口指導実企業数534社(うち非会員32社) 巡回窓口指導延べ件数1,477件 課題解決提案件数33件 経営革新承認件数3件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延べ件数 (達成度 122.6%)	指標	課題解決提案件数 (達成度 91.7%)	指導内容の充実が見られ、きめ細やかな伴走型指導ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	実企業数の増加を図り、より会員満足度の向上に努める。
記帳継続指導事業	商工会員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と併せて経営力向上に結びつける。	指導対象者数: 96人 指導延べ日数: 310日 指導延べ回数: 1,580回 6月・11月に記帳確認指導会、7月・1月に源泉、年末調整指導会、2月・3月に決算、確定申告指導会の特別相談指導会を実施。	小規模事業者	指標	指導延べ回数 (達成度 303.8%)	指標	(達成度 %)	指導日を決めて指導会を開催しているが、徐々に定着してきており、混雑解消してきている。また、1回の相談を時間制限したことも合理的かつ円滑な宗田案指導ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	マイナンバー制度の定着化が見られ、事務の煩雑が減少している。今後は、記帳機械化処理件数増加に努める。
講習会事業	経営環境の変化、多様化するニーズ等に対応すべく、小規模事業者に必要な金融・税務・労務・法律・記帳・情報等の知識習得や時事的な問題等を円滑に対処する。また、事業所の安全な労務管理運営のための資格取得に資することを目的とする。	集団: 8回 85人 個別: 45回 459人 計: 53回 544人	小規模事業者	指標	集団・個別参加者数 (達成度 57.5%)	指標	(達成度 %)	集団での講習参加者が多くなかった点が見られるが、タイムリーな講習会実施ができ、有意義なものであった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	会員ニーズを把握し、近隣商工会との連携を図り、効果的かつ有効的な講習会を実施していく。
地域振興祭事業(日進市岩崎城春まつり)	昭和62年、岩崎財産区が岩崎城を建立したことを契機に、日進市が城址公園整備をし歴史記念館を建設され、市の歴史遺産を背景に地元商工業者が地域に密着した販売促進策とPR活動を行うとともに、地域総合振興を図ることを目的とする。	毎年4月上旬の開催計画。 I. 殿様・姫様とおまんとうパレード・太鼓ショー・楽器演奏・パフォーマンス・バザー等を城址公園で実施。 II. 鳴子おどり披露・バザーを岩崎川周辺で実施。 III. 両会場を結ぶ道中に「おもてなし街道」と称し、3拠点でサービスの提供を実施。 バザー売上高193万円	小規模事業者及び地域住民	指標	出店バザー売上高(万円) (達成度 64.3%)	指標	来場者数 (達成度 116.7%)	好年に恵まれ、昨年以上の賑わいがあったが、2会場の出店者はMaxであるが売上としては伸びなかった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	2会場を結ぶ導線の安全確保に努めていく。
地域振興祭事業(にしんまつり)	小規模事業者の共同宣伝及び共同催事の実施により、もって、地域商工業の振興発展を促す。また、地域社会の活性化や地域住民との連携意識や高揚と融和を図ることにより、総合経済強化を図ることを目的とする。	台風により事業中止	商工会員及び地域住民	指標	協賛企業数 (達成度 0.0%)	指標	(達成度 0.0%)	本年度は、台風上陸に伴い、安全性が確保できないことから中止とした。	総合評価	C	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	協賛金は、次年度に繰り越すとし、協賛社からは理解を得ている。
地域振興祭事業(日進市産業まつり)	市・JAと三位一体となり日進市を挙げての総合振興事業で、地域商工業者の共同宣伝及び催事の実施により、地域商工業の振興発展を促し、各種団体の相互融和と連携を図ることにより、地域産業社会の活性化に資することを目的とする。	会場を市役所周辺及びJA駐車場として行う。催事内容は、ステージ行事で木工PRの他、木工展示、飲食バザーを行い、商工会員は招待、抽選券を配布案内する。来場者14,000人 出展企業数62件	小規模事業者及び地域住民	指標	出店(展)企業数 (達成度 95.4%)	指標	来場者数 (達成度 103.6%)	昨年に続き本年も好年に恵まれ、賑わいが見られた。結果、出店者の販売促進に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	天候に左右される屋外催事なので対策も考えていきたい。また、食の安全も重要視されているので配慮していく。
商店街振興事業(歳末感謝セール・抽選会/日進セレクト商品推奨)	近隣市町への消費流出の歯止めを掛け、市内小売・サービス業者の共同販売促進事業としての顧客サービスを一時的に消費の多い年末に開催し、販促効果が大きい。また、日進の特産品「にしんセレクト」の認知度を高め贈答品などとして購入促進を図る。	セール期間: 平成29年12月上旬から中旬まで実施。 抽選会: 同年12月23日実施 販売促進チラシ等を3回新聞折り込みし、参加店PRを行う。	市内小売業者及びサービス業者	指標	セール参加店数 (達成度 87.6%)	指標	(達成度 %)	セール期間は11月下旬から27日間行い、買い上げに応じて抽選券を連呈し、抽選会参加を促し、年末の販売促進に繋がった。抽選会も好評で経済効果が得られた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	現行を維持しながらも、役職員の知恵を絞り一層の買いまわりによる販売促進につなげていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 日進市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価													
				目標①		目標②		得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等		備考	
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標
地域産業活性化事業(友好姉妹提携事業)	長野県木祖村商工会青年部が当市(当時町)を視察訪問されたのがきっかけで、その後「商売の夢」が受け継がれていくようになり、平成元年提携を締結した。現在は行政提携もされ、人と物産の交流を図っている。また、三重県志摩市とも商工会の交流をきっかけに平成4年提携を締結し、人と物産の交流による経済の活性化を図ることを目的とする。	毎年5月の総会・総代会への相互訪問。9月につき日進市・11月の日進市産業まつりには物産販売を行う他、志摩の夏まつり、えいじゃんかまつり、木祖の源流夏まつり、やぶはらまつり等々の催事で人的交流、経済交流を深めている。交流参加人数88人	小規模事業者及び地域住民	指標	交流参加人数 (達成度 110.0%)	指標	(達成度 %)	志摩市との交流でなく、木祖村との交流で青年部同士の周年事業として実施した。節目の時期に改めて交流を確認でき更に交流を深めることができた。志摩市との25年は誤植で、木祖村青年部との30年の節目記念事業を行った。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標
地域商工業活性化事業	市内購買車の拡大を図るとともに、市内事業者の活性化を図るを目的に、会員店舗を広く地域に紹介し、地域の方々が会員店舗にて飲食や買い物ができるようにする。	市内店舗を紹介する冊子作成及び配布を行う。また、商工会ホームページ店舗を広く紹介する。参加店舗数129	小規模事業者及び地域住民	指標	参加店舗数 (達成度 71.7%)	指標	(達成度 %)	本年度は、商品券の発行でなく、企業PRと来店等の際の割引サービス付の冊子を作成し、市内全戸配布を行い注目を浴び、来店者数増加に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	市と商工会での協議を重ね、市内企業のアピールと内需拡大策とした事業展開を行い、継続したい。
経営強化一経営相談指導事業(会員の集い)	会員事業所を対象に、会員相互の交流の場を提供し、異業種交流を図ることを目的とし2月に開催計画を予定する。新たなビジネスチャンスを創出することを目的とする。	開催日：平成30年2月9日 参加企業：39名 第1部として時局経営セミナーの開催。第2部として異業種交流会等を開催。新規加入会員及び加入予定者の商工会理解を推進する。	小規模事業者(会員事業所)	指標	参加者数 (達成度 55.7%)	指標	(達成度 %)	内容等の企画は、工業部会で練られているが、参加者が思うように伸びなかった。参加者には有意義な講習と異業種交流ができた。	総合評価	B	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	開催日・会員ニーズに応じた設定を考えて、内容等一部変更を検討していく。
雇用促進・健康維持増進事業(従業員定着アップ「ポウリング」健康診断事業)	小規模事業者にも大企業と同等の福利厚生が求められる中、ポウリングを通じて、小規模企業相互の交流を図るとともに各社の事業主と従業員との交流を図り、定着性向上を目的とする。また、健康維持増進として定期健康診断を実施し、労働安全衛生規則の助行と雇用の安定化を図ることを目的とする。	ポウリング大会：6月17日に星ヶ丘ポルで開催 参加者数117名 健康診断：6月に主に商工会館で実施するが一部企業巡回も行う。 受診者数414名	会員事業所代表者・従業員及び家族	指標	ポウリング参加者数 (達成度 97.5%)	指標	健康診断受診者数 (達成度 118.3%)	会員同士の交流が深まり、帰属意識の高揚に繋がった。また、健康意識が高まり、健診者数の増加が得られた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	ポウリング・健康診断とも定着化しているが、少し工夫を凝らした事業展開も検討していく。
青年部・女性部事業(青年部事業)	商工会の事業を積極的にバックアップするとともに、経営者又は後継者としての経営資質向上を通じて、日進市商工業の総合的な改善発達を図り、併せて日進市の振興発展、社会一般の福祉の増進、日進市の新しいまちづくりに取り組む。	4月：日進市岩崎城春まつり・9月：にしんまつり・11月：日進市産業まつり・12月：歳末抽選会に飲食、即売、ゲーム等に出店。1月：ふれあいスキーツアーを市民向けに開催。また、部員相互のスキルアップのため勉強会を開催する他、会員の集い参加で異業種交流を図る。部員数60名講習会開催数7回	商工会青年部員・市内地域住民	指標	青年部員数 (達成度 92.3%)	指標	講習会・勉強会開催数 (達成度 116.7%)	組織強化のためのガイドライン等を行い部員増強に繋がった。更に、勉強会を通じて経営資質向上ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	若手後継者事業を継続し、一層の経営力向上を図っていく。
青年部・女性部事業(女性部事業)	経営女性として、女性ならではの特性を活かし、知識と教養を深め資質の向上を目的とし、商工会事業に積極的に参加することにより、地域の発展と活性化に奉仕の精神で寄与する。	4月：日進市岩崎城春まつり・9月：にしんまつり・11月：日進市産業まつり・12月：歳末抽選会に飲食、即売等に出店及び来場者サービスの提供をする。経営女性としての研修会・講習会、勉強会の開催と会員の集い参加で異業種交流を図る。部員数139名講習会開催数4回	商工会女性部員	指標	女性部員数 (達成度 73.2%)	指標	講習会・勉強会開催数 (達成度 40.0%)	部員数の減少がみられるが、部員ニーズを把握しながら、中身の濃い勉強会ができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	経営女性として、これからは必要な勉強会を重ねていく。それによって部員数高上に繋げていく。

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要(小規模事業経営支援事業費補助金関係)

団体名: 日進市商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価										備考							
				目標①		目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等						
部会・委員会事業 (振興委員会・事業推進委員会)	振興委員会は、地域内小規模事業者のニーズ把握や地域情報等の提供をし、情報提供をすることで小規模事業者の発展・経営支援に資することを目的とする。事業推進委員会は、会員間の交流と長野県木柵市商工会と及び三重県志摩市商工会との人的かつ経済的交流を図り、もって、三地域の小規模事業者の発展に資することを目的とする。	振興委員会は、商工会が行う催事等において商工会利用PR活動を行う。また、組織拡充のため商工会事業アドバイザーを行う。事業推進委員会は、長野県木柵市商工会及び三重県志摩市商工会との催事等に関する交流計画をする他、会員間の交流を促進する。振興委員会会議数6回。事業推進委員参加者数112名	小規模事業者	指標	振興委員会連絡会議数 (達成度 100.0%)		指標	事業推進委員会会議・催事参加者数 (達成度 140.0%)			各委員会が積極的に会員増進意識向上と組織強化を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果 事業者への 満足度	A	必要性	A	目標	現状維持
				目標数値	6	実績数値	6	目標数値	80	実績数値					112					目標達成度	
福利厚生事業 (共済事業)	地域内小規模事業者に対して、商工会の取り扱う各種共済の説明を行い、経営基盤の充実並びに節税対策等を図る。	商工会ニュース(商工につき)の配布時に小規模共済・経営セーフティ共済・中小企業共済・火災共済・自動車共済等のチラシ配布を行う。また、巡回・窓口相談指導時に新規加入促進を図る。手数料収入330万円	小規模事業者	指標	手数料収入額(千円) (達成度 100.0%)		指標	(達成度 %)			商工会の扱う共済として、安心安全をPRできている。また、各種共済担当者と連携も図れた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果 事業者への 満足度	A	必要性	A	目標	現状維持
				目標数値	3,300	実績数値	3,300	目標数値		実績数値										目標達成度	
労働保険事業 (労働保険事務組合事業)	労働保険事務組合は、小規模事業者等の委託を受けて、労働保険料の納付、各種届出等の事務を行うことにより、小規模事業主等の事務処理負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。また、手数料収入並びに報奨金は商工会の自己財源となる。	①労働保険料、一般拠出金の計算及び徴収金の申告納付。 ②雇用保険被保険者資格取得及び喪失の届出。 ③労働保険関係成立届、雇用保険適用事業所設置届等。 ④労働保険特別加入申請、変更申請、脱退届等に関する手続き等を随時指導する。 適用事業所数166件	小規模事業者	指標	適用事業所数 (達成度 94.9%)		指標	(達成度 %)			本年も特別加入のみで加入した事業所を整理したことから、適用事業所の増加には繋がらなかったが、適宜事務組合利用の推進はできた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果 事業者への 満足度	A	必要性	A	目標	現状維持
				目標数値	175	実績数値	166	目標数値		実績数値										目標達成度	
税務関係団体指導事業 (青色申告会事業・法人会事業)	税務支援団体として、個人事業主を主に青色申告を普及するための活動を支援し、団体事業運営などに協力する。法人会事業においては、愛知県20単会のうち昭和法人会及び日進支部活動を支援し、地域社会貢献や企業発展の一助となり、併せて地域内小規模事業者の発展に資することを目的とする。	I. 税務定例相談会は、効率的運営のため随時相談する。 II. 源泉・年末調整・記帳確認・確定申告の指導会は、税務署関係団体との連携を図り実施する。 III. 法人会における社会貢献活動として、市内催事等と図るとともに、組織強化の研修会、スキルアップのための税務講習会を開催する。参加者数414名	小規模事業者	指標	青色申告相談会参加者数 (達成度 36.6%)		指標	社会貢献、組織強化資料配布数 (達成度 100.5%)			パソコンによる記帳が増加し、相談時間が長くなるため、時間を区切った相談対応にシフトしたため、待ち時間の短縮を図り、スムーズな対応ができてきた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果 事業者への 満足度	A	必要性	A	目標	下げる
				目標数値	1,130	実績数値	414	目標数値	970	実績数値					975					目標達成度	
経営強化事業 (会員親睦ゴルフ大会)	会員事業所を対象に、会員相互の交流の場としてゴルフ大会を開催し、異業種交流を図り、新たなビジネスチャンスを創出することを目的とする。	開催日: 7月11日 参加者数: 118名	小規模事業者 (会員事業所)	指標	参加者数 (達成度 98.3%)		指標	(達成度 %)			異業種交流ニーズ即した交流の輪を広げることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果 事業者への 満足度	A	必要性	A	目標	現状維持
				目標数値	120	実績数値	118	目標数値		実績数値										目標達成度	
若手後継者育成事業 (青年部講演会事業)	講演会の開催を通じて若手後継者・経営者の資質向上を図り、地域の発展に寄与できる人材育成を目的とする。	①「経営革新・新規事業の始め方」13名 ②「補助金・助成金活用セミナー」9名 ③「道の駅を中心とした地域の活性化と、それに関連した企業の発展」36名	青年部員 会員	指標	参加者数 (達成度 96.7%)		指標	(達成度 %)			講演会を通じて知識を高め、後継者としての素質を高めることができた。	総合評価	A	事業実施評価	自己評価	調査結果 事業者への 満足度	A	必要性	A	目標	現状維持
				目標数値	60	実績数値	58	目標数値		実績数値										目標達成度	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。